

校長室から

校長 倉持利夫

中国古代の思想家孔子は、『論語』の中で、「弟子、入りては則ち孝、出でては則ち悌、謹みて信、汎（ひろ）く衆を愛して、仁に親しみ、行ひて余力有らば、則ち以て文を学ぶ。」(学而篇)と教えています。これを訳してみると、「若者よ、家の中では父母に孝行を尽くし、外に出ては年長者によく従って誠を尽くし、慎んで誠実に、広く多くの人を愛し、仁の心を持つ人と親しくし、そのように実行してもなお余力があれば書物や先生から学問を学びなさい。」となります。

ここでは学問の修得が最後になっていますが、孔子の真意は「良いことと知ったら実践し、実践から学びなさい。そしてその後に書物や先生から体系的理論的な勉強をなさい。そのようにすれば机上の学問ではない本当の勉強ができるのだ。」ということです。

さて、本校で最も大切にしていること、それは、「人として正しい生き方を学ぶこと」です。上記の教えのように、心を学ぶ実践を通して、「人としての在り方生き方を学ぶこと」を、本校の教育活動の中心に据えて取り組んでいます。

道徳教育の実践と教科学習に調和を以て取り組むことにより、生徒たちが学ぶ学問も、机上の空論、理論倒れが回避できるものと考えています。

今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

9月の主な行事

- 9月2日：開講式
- 4日：就職希望者模擬面接開始
- 16日：就職試験開始
- 19日：体育祭（非公開）
- 25日：生徒会役員立合演説会
- 27日：前期終業式
 - ・本校は2学期制です。

29～30日：学期末休業

10月の主な行事

- 10月1日：後期始業式
 - 大学入試センター試験出願開始
- 6～9日：修学旅行（2年生：沖縄）
- 10日：芸術鑑賞会（1，3年生）

なんと約1000人 来校！

オープン・スクール大盛況！

8月1日に、中学生とその保護者の方を対象とした、中学生体験学習が開催されました。今年度は、史上最高の約1000人（中学生703名+保護者+引率の先生）にご来校いただきました。



体育館は満員でした。体育館での学校説明の次は、そ

れぞれの希望に沿って、授業を体験したり、部活動を見学したりしました。

(写真は英語)



KLC震災復興支援ストラップ販売

7月の面談期間に、KLC（鹿島リーダーズクラブ）が、陸前高田の被災者の方が作成した、ストラップとキーホルダーを販売しました。保護者の方や生徒の関心も高く、たくさんのご協力をいただきました。



野球部善戦及ばず、でも、応援最高

7月9日、土浦市営球場で行われた試合は、善戦及ばず、残念な結果となりました。しかし、スタンドでは、応援リーダーとプラスを中心に、熱のこもった応援が繰り広げられました。



ご声援、ありがとうございました。

放課後③～演劇部の巻～

最上階の隅に、不思議な空間がある。ご覧の通り、広い。何もない。何もないから広い。つめて座ると、1学年分280人の集会も開ける。眺めもいい。春は城山の桜（の上の方だけ）、秋は富士山と筑波山が見える。ここは、演劇部のスタジオである。練習もするし、公演もする。



その演劇部は、実は、茨城県代表として、関東大会に出場したことがある。全国大会出場はこれから。現役員に聞いてみた。

「目標は？」「役者です！」

リレーエッセイ 鹿苑今昔③～

閉ざされた昇降口がある。ついさっきまで、野球部がウェイト・トレーニングをしていたここは、生徒昇降口である。ただし、開かない。下駄箱（下駄は誰も履かないのだが）もない。



ついでに、この昇降口の手前、つまり撮影者側には、職員玄関もある。これは、閉ざされていない。

鹿島高校の前身は鹿島農学校であり、平成元年まで農業科があった。その頃の、農業棟の昇降口と玄関が、ここなのである。登下校はもちろん、農場での実習の利便性のために用意されたものであろう。

今この空間では、野球部だけではなく、多くの運動部がトレーニングしている。

鹿高なう～夏休み中のあれこれ～

夏季学力向上講座に約300人！



外部講師を招いて英語・数学・国語3教科74の講座が開設され、大学進学希望者等、約300人が参加しました。

【写真は7/28 3年生数学】

各種ボランティア活動に多数の生徒が参加

- ・鹿嶋市：フロンティアアドベンチャー
- ・鹿嶋市：アシストタイム各事業
- ・神栖市：夏祭りボランティア など
- ・サッカー部：南三陸町で牡蠣養殖復旧作業ボランティアに参加。

写真は、牡蠣の養殖に使う重石を作っているところです。重石は一袋約30キロ、それが1万個ほど必要なのだそうです。サッカー部約40名、2時間の作業で300個ほど作りました。



夏の部活動の結果

- 陸上部（女子走り高跳び）インターハイ出場
- 吹奏楽部：県東地区大会優秀賞・県大会銀賞
- 総文祭参加（長崎・3名）
- 演劇部：県東地区大会優秀賞・県大会は11月

編集後記： 亀の姿が見えない。あれほど俊敏にカメラから逃げた亀が、いない。暑いから池に潜っているのだろうか。耐震工事を怖がって身を隠しているのだろうか。それとも、人目を嫌って？ここに書いたせいで、亀は結構有名になってきた。悪いことをしたな。ごめんよ。亀。

茨城県立鹿島高等学校学校だより『鹿苑だより』第3号（隔月刊）

発行：茨城県立鹿島高等学校
校長 倉持利夫

編集：広報委員会
中沢雅彦 山崎律子